

令和8年度 キャリア教育実践プログラム

【キャリア教育の目標】

自分自身の適性に応じた進路を実現するため、主体的に社会と関わろうとする意欲を持つ人材を育成する。

1. 育成すべき能力と達成目標

① 人間関係形成・社会形成能力	・ 社会人としての考え方を理解し、他者の意見も検討・考察し、自分の考え方を正確に伝える力 ・ 自分に与えられた役割を、責任をもって果たし、他人と協力をして社会に貢献する力
② 自己理解・自己管理能力	・ 自分が「できる／すべき／したい」ことを調整し、他者と協力し自らの可能性を生かし行動する力 ・ 自らの感情をコントロールし、将来に向けて主体的に学ぼうとする力
③ 課題対応能力	・ 仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立てその課題を処理し解決する力
④ キャリアプランニング能力	・ 働く意味を理解し、ICT 機器を活用して多様な情報を収集・対処し、自らの進路計画・実現を果たす力

2. 学年（年次）目標（入学から卒業までを見通した4カ年計画）

第1学年 自己を知り、基盤をつくる 高校生活への適応を図り、自己管理能力を養う。自己分析を通じて「できる・したい」の芽を育てる。	第2学年 他者と協働し、社会を知る 幅広い人間関係を形成し、役割と責任を理解する。働く意味や経済の仕組みへの関心を高める。	第3学年 課題に直面し、キャリアを構想 インターンシップ等の体験活動を通じ、課題解決力を養う。ICTを活用し具体情報を収集・分析する。	第4学年 進路を決定し、社会へ移行 適性に応じた進路プランを確立し実現へ動く。労働者の権利・義務を理解し、円滑に社会へ移行する。
--	---	---	--

3. 教育活動との関連性

各教科活動	国語・外国語：表現力や傾聴力を養う（①）。 工業（専門）：実習や課題研究を通じて課題発見・解決力を習得（③）。 情報：ICT 機器を効果的に活用した情報収集・対処スキルを習得（④）。
特別活動・探究	総合的な探究の時間：自己分析、適性検査、体験的学習の活用（②・④）。 ホームルーム・生徒会活動：学校行事の運営や係活動を通じ、役割を果たす責任感と協働の態度を育成（①）。

【別枠明示】シチズンシップ教育にかかる具体的取組（キャリア教育の一環）

■ 法に関する教育 労働基準法や労働者の権利・義務に関する外部講師の講演などの実施（労働環境の理解）。	■ 政治参加に関する教育 副教材を活用したワーク、選挙に合わせた模擬投票の実施（主権者意識の醸成）。	■ 経済に関する教育 社会の仕組みや生活設計に関するマネーシミュレーション（自立した生活管理）。	■ モラル・マナー 情報モラル講習、ビジネスマナー講座の実施（感情コントロールと他者尊重）。
--	---	---	---

※本プログラムは単年度の学校目標と整合させ、PDCA サイクル（生徒アンケート・評価指標の達成度検証）に基づき継続的な評価・改善を行う。

キャリア教育年間計画表

学年	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年
人間関係形成・社会 形成能力 [学校行事等に参加す ることによって能力を形成]	○遠足 ○体育祭 ○文化祭 ○修学旅行（3 学年） ○球技大会 ○委員会活動 ○部活動 ○地域貢献活動			
自己理解・自己管理 能力 [LHR・進路ガイダンス等を 通して能力を形成]	●キャリアパスポート作成 □個人・三者面談			
	●キャリア形成講座		●社会人準備講座	
課題対応能力 [授業、行事、部活動を通し て能力を形成]	○部活動 ○各行事運営			
	○インターンシップ			
			□探究活動（卒業学年）	
キャリアプランニ ング能力 [LHR・進路ガイダンス等を 通して能力を形成]	○合同企業説明会			
	●卒業生講話			●社会人準備講座
	●キャリア形成講座 ○出前授業	●進路ガイダンス ●求人票指導 ●面接指導 ●履歴書指導		

○：行事・部/委員会活動 ●：LHR・進路ガイダンス □：クラス・教科活動